

# 茨木市南部 散策マップ

多彩な魅力の8モデルコース



茨木市観光協会

## 宿久庄・福井 コース

神々の宿る  
山裾に抱かれる

全長：約7.5km  
所要時間：約2時間30分

- モノレール豊川駅
- 新屋坐天照御魂神社(宿久庄)
- 須久久神社
- 紫金山古墳
- 新屋坐天照御魂神社(福井)
- 大籠冠神社
- 真龍寺
- 追手門学院前バス停



▲新屋坐天照御魂神社(宿久庄)



▲須久久神社  
右大臣・中臣清麻呂が住居近くに祖神を祀った式内社。現在は、スサノオとクシナダヒメの2柱が祀られています。



▲新屋坐天照御魂神社(福井)

「延喜式神名帳」にも記載されている、長い歴史を持つ神社です。福井の社は、日降丘(ひふりがおか)の中腹にあります。



▲真龍寺  
弘法大師の高弟・真如法親王が建立したと伝わる真言宗の寺。境内にはD51型蒸気機関車(デコイチ)が展示され、市民の憩いの場になっています。



▲宮本輝ミュージアム  
芥川賞作家・宮本輝の個人文学館。出身大学の図書館に併設され、常設展や企画展を開催。市民や学生に広く親しまれています。



▲追手門学院大学附属図書館

## 北部エリア コース

檜の本陣と  
戦国の道を往く

全長：約5.6km  
所要時間：約1時間50分

- 宿川原バス停
- 郡山宿本陣(檜の本陣)
- 川端康成旧跡
- 白井河原合戦跡
- 耳原公園
- 耳原古墳
- 耳原バス停



▲郡山宿本陣(檜の本陣)  
西国大名が参勤交代の際の宿泊や休憩に利用した本陣の跡。五色の花見咲かせる御成門の脇の見事なツバキから「檜の本陣」とも呼ばれています。



▲白井河原合戦跡  
中川清秀由緒地(西国街道亀岡街道交差点) 下関に至る西国街道と、亀岡に至る亀岡街道が交わる場所に、織豊期の茨木城主・中川清秀の由緒碑があります。



▲耳原公園  
明治45年、康成は旧制の茨木中学に主幹で入学。在学中に文学を志し、大正6年に卒業した後、第一高等学校に進みました。



▲耳原古墳  
6世紀後半に造られたと考えられる円墳。帝人大阪研究センターの敷地内にあり、石室を見学することが可能です。(2011年12月まで工事のため見学中止)

## 川端康成 コース

ノーベル文学賞へ  
康成の足跡をたどる

全長：約6.0km  
所要時間：約1時間55分

- 宿川原バス停(宿久庄)
- 川端康成旧跡
- 郡の町並み
- 川端康成文学館
- 兵折 茨木童子脱見橋
- 茨木高校(正門)
- 飯急茨木市駅



▲川端康成旧跡  
ノーベル文学賞作家の川端康成は、幼くして両親を亡くしたため祖父母に引き取られ、現在の茨木市に移り住み暮らしました。



▲郡の町並み  
茨木市の農産物や加工食品を中心に商賈するほか、生産者と消費者が交流を図る場や、地域の情報発信拠点としての役割を果たしています。



▲兵折  
茨木高校の東側にある、ちよつと不思議なスペース。茨木城から出兵する兵士を整え、その数を数えた場所とされています。



▲川端康成文学館  
昭和60年に開設した文学館には、著書、書翰、原稿や墨書のほか、模型、写真、石本、ビデオ資料など、ゆかりの品約400点が展示されています。



▲茨木高校  
明治45年、康成は旧制の茨木中学に主幹で入学。在学中に文学を志し、大正6年に卒業した後、第一高等学校に進みました。



▲茨木童子脱見橋  
茨木市立川端康成文学館

## 総持寺・太田エリア コース

古寺名刹と  
巨大古墳をめぐる

全長：約4.5km  
所要時間：約1時間30分

- 飯急総持寺駅
- みしま館
- 総持寺
- 茨木神社(磯良神社)
- 新屋坐天照御魂神社(西河原)
- 太田茶臼山古墳
- 花園東和苑バス停



▲みしま館  
茨木市の農産物や加工食品を中心に商賈するほか、生産者と消費者が交流を図る場や、地域の情報発信拠点としての役割を果たしています。



▲総持寺(西国33ヶ所22番札所)  
十一面千手観世音菩薩像を本尊とする高野山真言宗の寺院。創建者の藤原山藤は、千日料理の承から料理の始祖とたえられ、毎年4月18日には包丁式が行われます。



▲新屋坐天照御魂神社(西河原)  
名神大社として式内社の中でも最高の社格を誇る。本社のほかに、東之神社、須佐神社、稲荷社の境内を擁しています。



▲太田茶臼山古墳  
全長226mの前方後円墳。周辺の発掘により、大量の埴輪や須恵器片が出土しています。宮内庁は継体天皇陵として祭祀していますが、異論を唱える学者もいます。

### 歩くマナーについて

- 地元住民の方にご迷惑となる行為は慎みましょう。
- 歩きタバコや吸い殻のポイ捨てはやめましょう。
- 空き缶やペットボトルなど、ゴミは必ず持ち帰りましょう。
- 農作物等をとらないでください。
- 自然を愛し、動物や植物を大切にしましょう。
- トイレが少ないので、早めに済ませておきましょう。

※所要時間は、時速3kmで計測しています(ただし休憩時間は含んでいません)。実際には、コース状況や歩行者の体力などによって差異が生じますので、目安としてご利用ください。

## 春日丘・宇野辺 コース

新旧の町並みと  
池畔を満喫する

全長：約6.2km  
所要時間：約2時間

- モノレール阪大病院前駅
- 春日丘八幡宮
- 松沢池
- 下穂積の町並み
- 宇野辺の町並み
- 蓮花寺
- 飯急モノレール南茨木駅



▲春日丘八幡宮  
昭和12年に鎮守の社として石清水八幡宮から勧請したのが始まり。現在地に移動してから、地域の人々に親しまれています。



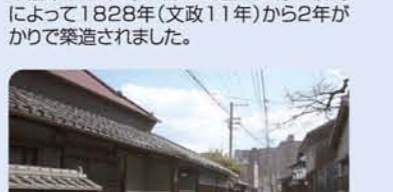
▲松沢池  
早稲(かんぼつ)に苦しむ近郷四村の借財によって1828年(文政11年)から2年がかりで築造されました。



▲下穂積の町並み



▲宇野辺の町並み



▲蓮花寺  
薬師如来像を本尊とする真言宗の寺院で、大阪府指定文化財の地藏菩薩立像、十一面観世音立像などを安置しています。

## 元茨木川 コース

元茨木川の緑道と  
茨木童子を訪ねる

全長：約8.3km  
所要時間：約2時間45分

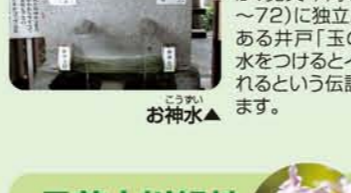
- 阪急総持寺駅
- 総持寺
- 茨木神社(磯良神社)
- 西河原公園
- 安威川茨木川合流の碑
- 高橋
- 佐和良義神社
- 道祖神社・水神社
- モノレール沢良宜駅



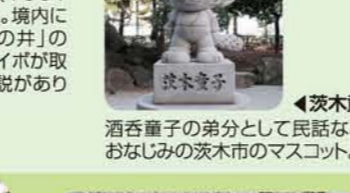
▲茨木神社(磯良神社)  
元は新屋坐天照御魂神社の境内社だったが、寛文年間(1661~72)に独立。境内にある井戸「玉の井」の水をつけるとイボが取れるという伝説があります。



▲茨木童子  
酒吞童子の弟分として民話などでおなじみの茨木市のマスコット。



▲安威川茨木川合流の碑



▲高橋



▲寺町橋跡



▲佐和良義神社

## 中央エリア コース

旧城下町の風情ある  
市街地を歩く

全長：約4.1km  
所要時間：約1時間25分

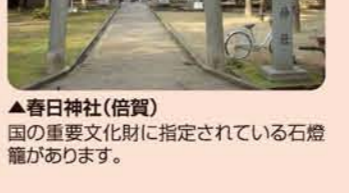
- JR茨木駅
- 春日神社(信賢)
- 富士正晴記念館
- 丸また
- 茨木城址(茨木小学校正門)
- 梅林寺
- 茨木神社・天石門別神社
- 東本願寺茨木別院
- 飯急茨木市駅



▲春日神社(信賢)  
国の重要文化財に指定されている石燈籠があります。



▲茨木市立富士正晴記念館  
作家として安威で長く暮らした富士正晴の記念館は、中央図書館に併設され、文学資料や自作の絵画などを展示しています。



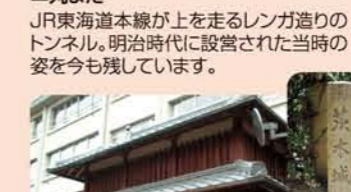
▲丸また  
JR東海道本線が上を走るレンガ造りのトンネル。明治時代に設置された当時の姿を今も残しています。



▲茨木城址(茨木小学校正門)  
現在の茨木小学校の位置に茨木城の本丸があったことから、小学校創立120周年を記念して櫓門を復元しました。



▲茨木神社・天石門別神社  
本殿にスサノオを、奥宮にタマカラオを祀る神社。6月30日の茅の輪くぐり、7月13~14日の夏祭などの行事があります。



▲東本願寺茨木別院

## 南部エリア コース

豊かな花と緑・  
古代神話に誘う

全長：約7.6km  
所要時間：約2時間35分

- 飯急モノレール南茨木駅
- 文化財資料館
- SL公園
- 若園公園(バラ園)
- 桑田公園
- 清洲神社
- 須賀神社(天然記念物の大クスノキ)
- 牟礼神社
- 飯急茨木市駅



▲茨木市立文化財資料館  
旧石器時代の遺物から昭和の道具類まで、貴重な歴史資料を展示。茨木の歴史や生活文化の一端を知ることができます。



▲SL公園



▲若園公園(バラ園)



▲清洲神社  
タマクシヒメとタタライズヒメ(神武天皇妃)を祀っている古社で、市内の神社の中で最も古いものとされています。



▲須賀神社  
船川地区の鎮守の社で、スサノオを祀る神社。境内には府の天然記念物に指定されている樹齢900年のクスノキがあります。

